

第26回暴力追放総決起集会の報告



～広報部 会報・HP委員会参加～

平成24年10月19日(金)、札幌市の中島公園広場にて、依然として道民に恐怖と不安を与えている暴力団の絶滅を目指し、「第26回暴力追放総決起集会」が開催されました。

北海道では山口組への一極集中が進み、暴力団構成員は2,800人(そのうち、札幌市では1,100人)が把握されています。その活動資金調達は公共事業、ヤミ金融を通じ一般市民、さらに東日本大震災の事業費にまでも及んでいるそうです。近年は大きな事件は起こっていませんが、依然予断を許さない状況の中、地域・職域から暴力団を排除するためにも、「暴力団を恐れない・利用しない・金を出さない」の推進が必須です。

午後2時より、札幌地区暴力追放センター協議会会長の開会宣言後、主催者、来賓の挨拶と続き、「暴力追放宣言」を参加者一同で宣言。総決起集会終了後引き続き、北海道警察音楽隊・カラーガード隊の先導のもと、「暴力追放」、「不当要求拒否」の小旗を掲げた企業や団体の代表ら総勢1,000名が大通4丁目噴水前に向かい、街頭啓発パレードがスタートしました。

今年も北海道行政書士会からは9名がパレードに参加、土業からの参加は行政書士会だけでした。秋晴れの中、「北海道行政書士会」のブラカードを先頭に、暴力追放を呼びかけ、ビルの窓から、また駅前通り沿道を歩く市民の関心と呼んでいました。



総決起集会の様子



総決起集会の様子



パレードの様子



パレードの様子